



みんなでつなごう！支えあいの輪！
～生活支援コーディネーター通信～



第 16 号
令和 4 年 8 月発行

高崎市生活支援
コーディネーター
通信

めざせ！ワンハート

みなさまへ

暑い夏がやってきました。皆さん体調はいかがでしょう。コロナの感染対策もしっかり行い、熱中症に気をつけて元気に夏を乗り越えましょう。7月には第2層協議体住民メンバーの意識UPを目的に、小規模情報交換会を実施しました。近隣の第2層協議体4～5か所を1グループとして市内を6グループに分けて、住民メンバーを中心に意見交換を行いました。この情報交換会で得た情報を各協議体に持ち帰り今後の活動に活かしていきましょう。



6・7月の第1層協議体の話し合いの内容



6月

<住民企画会議>

- ① 高崎市全体での協議体周知を目的としたチラシの検討
- ② 小規模情報交換会の内容について意見交換

<事業推進会議>

他地区の取り組み活動紹介
5地区（南八幡、塚沢・浜尻、長野、群馬（なのはな）、岩鼻）
質疑応答、情報交換を行いました。
目的：他地域の現在の取り組みを知る
自分の地域に活かすヒントを持ち帰る。

7月

<住民企画会議>

- ① 協議体周知チラシの内容検討
- ② 小規模情報交換会内容確認
- ③ 市内の居場所のマッピングについて検討

<事業推進会議>

生活支援体制整備事業に関する勉強会を開催
公益財団法人さわやか福祉財団の
長瀬さんの講義をビデオ視聴。意見交換。
目的：推進力アップ

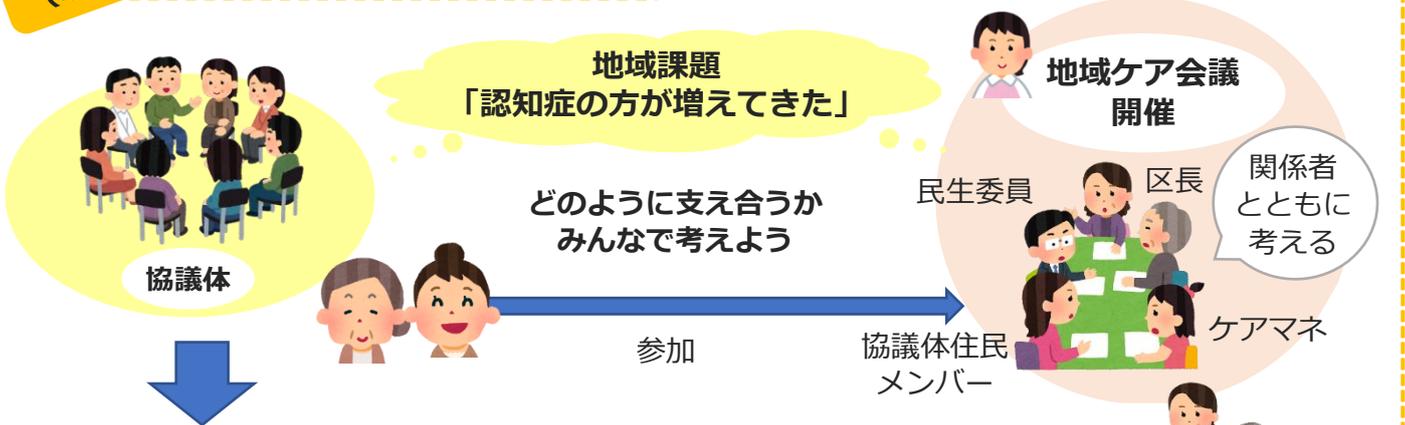
第1層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」**、**「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」** そうしたみなさんからの相談も第1層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

群馬地区
(なのはな)

既存組織との連携



認知症の方をどう支えよう...

認知症の人が散歩している...
一緒に散歩をしてくれる人は
いないだろうか?
オレンジサポーターもいる...
地域のみんで
支えられないだろうか?

作戦会議

各団体が連携して
できることは?

オレンジサポーター 区長
長寿会 協議体住民メンバー
あんしんセンター 1層SC

まずは既存の活動に
みんなで参加してみよう

長寿会
いきいきサロン春の遠足

春の遠足でみんなで一緒に散歩して
お互い理解しあい支え合えるようにしていこう

長寿会 +

オレンジサポーター 区長 協議体メンバー 介護事業所

3コースを設定

活動の共有と
今後について
検討

協議体

中居・矢中地区
(矢中)

区長会と連携 地域ニーズ調査

協議体について
勉強会

今後の協議体活動
で区長さんの協力
が必要

区長会との
連携強化
12/23

区長と公民館長、
協議体メンバーで
勉強会兼懇談会を開催



協議体

ニーズ・担い手
アンケート調査
をしてみよう!

区長会に
協力依頼

アンケート
作成



- ① 配布対象
- ② 配布・回収方法

区長会公民館長
協議体メンバー打合せ

お互いに
できることで連携



アンケート集計
(5/15)

・協議体
メンバーで集計



区長会協力
アンケート配布 (4/15)

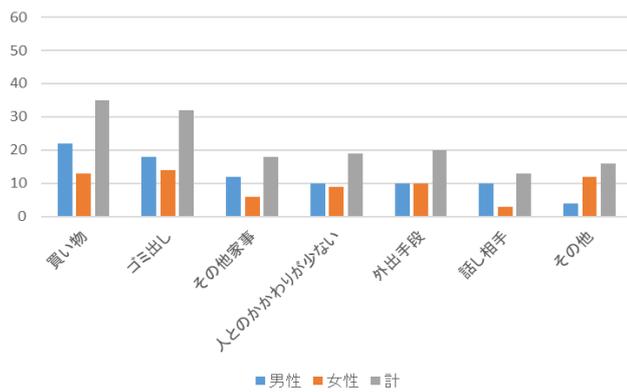
- ・対象：全世帯に配布
- ・依頼文の発信者に区長名を入れる
- ・回収：班長→区長→協議体へ



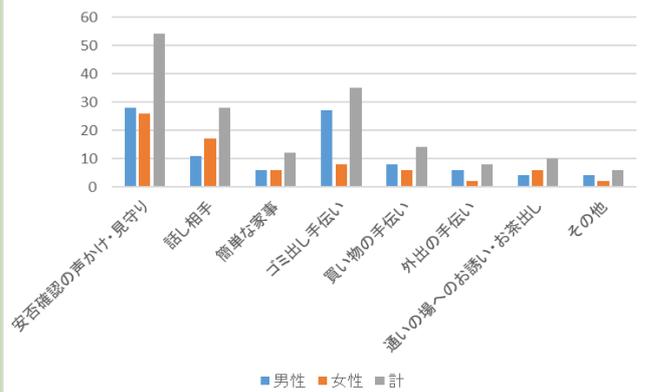
集計結果

配布件数：2,611件 アンケート回収件数：137件 回収率：5.25%

困りごと
(矢中地区全体)



出来そうなこと
(矢中地区全体)



【ニーズ調査項目】

具体的な困り事・その理由・こんな手助けがあると助かる

【担い手集めの項目】

氏名・年代・性別・できそうなこと(安否確認の声掛け・見守り、話し相手、簡単な家事、ゴミ出し手伝い、外出手伝い、集いの場へのお誘い・お茶出し、その他)

区長会へ報告会 6/19

- ・今回のアンケートの振り返り
- ・今後の協議体活動への協力・連携のお願い

中居・矢中協議体 6/28

中居地区メンバー
と情報共有



他地区の助け合い活動を知ろう！！

助け合い活動の設立準備から実際の活動に至るまでのプロセスや、実際に活動に取り組む中での課題や継続に向けた仕組みづくりなどを情報交換してみませんか？ 今年度、「佐野たすけ合い隊」、城東地区で活動している「『たのも〜』お助け隊」の2つの活動団体が立ち上がりました。見学・情報交換したい方は第1層 SC にご連絡ください。



助け合い活動を立ち上げたい…でも、何をすればいいのかなあ…

実際の取り組みの様子について聞いてみたい！



他地区の事例を共有し、自分の地区の活動に活かそう！



↑ R3.8.17 に開催した情報交換会の様子

助け合い体験ゲーム体験会



自分が助けてほしいことを選ぶ

マッチングが成立したらグータッチ



体験人数 5～20 人
1 グループ 5～9 名
1 グループ～3 グループで開催

助け合いを広げるために、ゲームを用いてニーズと担い手の掘り起こしのプロセスが体験できる「助け合い体験ゲーム」です。この助け合い体験ゲームは協議体のみならず、地域の集い等でもご活用いただけます。

やってみたい方は、SC までご連絡ください。

助け合い体験ゲームとは…

ご近所での助け合いをワークショップによるゲーム感覚で楽しく体験するものです。



- ① 自分や参加した人たちの「できること」や「してほしいこと」を出し合い、気づかなかった能力やニーズに気づきます。
- ② 助け合いのうれしさ・楽しさを実感できます。
- ③ グループで行うことで、顔が見える関係が構築でき、本音を出し合い、参加者同士の距離が近くなります。
- ④ 「助けて」と言えることの大切さ、難しさを体験できます。

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター
連絡先：☎：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

